

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔^{しろ た みのる}が京都帝国大学（現在の京都大学）で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時の日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

そんな現実にも胸を痛めていた医学生時代の代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入りました。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功しました。それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる「ラクトバチルス カゼイ シロタ株」です。

その後、代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志とともに安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化しました。こうして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。

原点 代田イズム

ヤクルトでは、創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、現在もすべての事業の原点としています。

創始者
医学博士
しろ た みのる
代田 稔
(1899-1982)



予防医学

病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないための「予防医学」が重要である。

代田イズム

健腸長寿

ヒトが栄養素を摂る場所は腸である。腸を丈夫にすることが健康で長生きすることにつながる。

誰もが手に 入れられる価格で

腸を守る「乳酸菌 シロタ株」を一人でも多くの人に、手軽に飲んでもらいたい。

ヤクルトCSRコミュニケーションブック 目次

01 ヤクルトに息づく想い

02 ごあいさつ

03 数字で見るヤクルト

05 ヤクルトのSDGsアクション

07 ヤクルトの事業活動とSDGs

09 特集1 健康 奈良ヤクルト販売

健康でイキイキとした生活をサポートする「健康応援企業」を目指して

11 特集2 地域社会 ヨーロッパヤクルト・アルメア工場

世界で展開するヤクルトの工場見学

13 特集3 環境 岡山和気ヤクルト工場

自然と共生し、環境と調和しながら生産活動を推進

15 もっと知ってほしい! ヤクルトのCSR活動

ごあいさつ

ヤクルトの願いは、世界中の人々に健康で楽しい毎日を過ごしてもらうこと。健康に役立つ商品や、サステナブルな社会づくりに貢献するさまざまな取り組みで、それを実現していきます。

このコミュニケーションブックでは、ヤクルトの事業活動や、SDGs^{*1}への貢献、ヤクルトの事業に関わりが深く特に重要と考える3つの領域「健康」「地域社会」「環境」における取り組み、世界各地での特色ある取り組みを取りあげています。

「人も地球も健康に」をスローガンとして、健康に役立つ商品の開発や、持続可能な社会づくりに貢献する取り組みを行ってきたヤクルトは、企業活動そのものがCSR^{*2}活動であり、SDGsの各目標への貢献に深く関連しています。SDGsの理念である「誰も置き去りにしない」は、私たちの原点である代田イズム（上記参照）につながるものがあると考えています。

今後も、企業として成長し、持続可能な社会の実現を達成するためには、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまと密にコミュニケーションをとり、CSR活動をより発展させていくことが大切です。

世界中にひろがるヤクルトのCSR活動とその想いを、このコミュニケーションブックを通じて感じていただけたら幸いです。

代表取締役社長

根岸考成

*1 SDGs…Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標（⇒P.5参照）

*2 CSR…Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任